

# 大阪歯科大学 兵庫県同窓会報

昭和48年9月1日

No. 29

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会

神戸市生田区山本通5丁目41  
電話(078)351-4181

編集発行人

中森康二

この度、不肖私が同窓会長に選任されましたがこれは飯田前会長が、不幸にも最近健康を害されたので、ゆっくり御静養を願い健康を取り戻して頂こう、と云う意味ではないかと思ひます。そう云う意味合いで私も引受けましたが、然し、本来が浅学非才であります。宜敷く御支援御協力を御願ひ申し上げます。

尚、飯田前会長には諮問委員として、重要問題について何かと相談に乗って頂く事に致しました。

ところで、私は同窓会長は実は二度目であります。昭和26年会長になり6年間その任にありましたが、就任当時の同窓会は、同窓会とは名ばかり、組織も何もないのには



き驚ました。それで現在の分会、支部の組織をつくる為に、区割の地図を持って理解と協力を求めて県下を駆け廻ったものであります。

幸に大方の会員の協力を得て組織も出来上り、また、交歓旅行会、新卒歓迎会と行事を企画致しました処、これ又順調にすべり出し今日の隆盛を見るに至ったのであります。

これもその後奥野会長、飯田会長と指導者に良き人を得た事も勿論ですが、役員、会員の一方ならぬ努力の賜物だと存じ、敬意と感謝の意を表するものであります。

とは云うものの、現在尚一部会員に冷い傍観者のある事は誠に遺憾であります。然し我々としても、ただ慨嘆する丈でなく、何故こうした傍観者

が絶えないのか、反省してみる必要があると思ひます。

傍観者には傍観者としての言い分があると思ひますが、要は同窓会に対し魅力がないか、或は魅力が薄いか、ではないかと思ひます。そこで私は誰にも魅力ある同窓会……誰にも魅力ある同窓会……今後之をスローガンとして魅力づくりに懸命に努力し、探そうたって一人の傍観者もない血の通った同窓会にまで高めたいと思ひます。

ここで諸氏に御願ひがあります。同窓会は皆んなの同窓会であります。同窓会をより一層良くす

る為に誰にも魅力ある同窓会づくりは皆んなに考えて頂きたいと思ひます。

## 就任挨拶

大歯大兵庫県同窓会長

阿部 勉

何んでも結構です、こんな点はこ

う改める可きではないか、こんな事を始めたらどうか、改革案もよし、創設案もよし、諸氏の英知をこの際結集して、後代の者がよくやってくれた、と感謝するような同窓会づくりをやるうではありませんか。送り先は県歯会館内同窓会宛、回答期間は今年末まで、じっくり考えてください、尚、取捨選択は理事会に御任せ願ひます。

万人は一人の為に、一人は万人の為に……之は生協運動のスローガンですが、我々も、同窓は一人の為に、一人は同窓の為に……の境地にまで登りたいものです。よりよき前進の為に積極的に御協力を御願ひ致します。

以上御願ひを申し上げ就任挨拶と致します。

## 昭和47年度総会

## 会長に阿部 勉氏 (西宮)

## 監事は津田・津島の両氏が留任

大歯大兵庫県同窓会では、6月30日(土)午後3時から兵庫会館5階ホールで総会を開いて、次期兵庫県同窓会長に阿部氏(西宮)を選出した。また、監事には津田・津島の両氏を留任と決定したほか、昭和47年度決算並びに昭和48年度事業計画、同予算を万場一致で可決決定した。

総会は内海専務の司会、竹谷副会長の開会のことばではじまり、議長に竹谷副会長(司会者一任)を選んだあと、物故会員に対し弔慰黙祷を捧げ、ついで、吉岡副会長が病氣療養中の飯田会長の代理として挨拶を述べた。

この日、来賓として出席した奥野同窓会長(兵庫県同窓会名誉会長)は、今総会が役員改選の時期に当たっているので、会長選出についてふれ「地元の兵庫県同窓会として、どうか和気あいあいの平和裡に次期会長を選出するよう……」とのあいさつを述べた。

このあと、議事録署名人に井上貴之助(播磨)木村栄一(生田)の両氏が指名され、各種報告についで議事に入った。

## 報告事項

- (イ) 会務報告 内海専務理事
- (ロ) 会計報告 溝井常任理事
- (ハ) 本部報告 志築本部常任理事
- (ニ) 渉外報告 鹿嶋常任理事
- (ホ) 監事報告 津田監事

## 議事

- 第1号議案 昭和47年度歳入歳出決算の承認を求める件
- 第2号議案 昭和48年度事業計画案に関する件
- 第3号議案 昭和48年度歳入歳出予算に関する件
- 第4号議案 会費賦課徴収方法に関する件
- 第5号議案 会長選出の件
- 第6号議案 監事選出の件

以上の6議案が上程され、慎重審議の結果第1から第4議案については、万場一致で承認ならびに可決決定した。

なお、会費については、同窓会本部会費が2,500円から3,500円に値上げされたため(1,000円の値上げ) 県同窓会費3,000円に併せて本部会費2,500円が本年度の同窓会費となる。

第5号、第6号議案は役員改選に関するもので、会長選出に当っては、これからの同窓会のありべき姿を十二分に考慮した上で、慎重に次期会長を選出すべきであるとの意見が強く出た。選出方法については選考委員制が採られ、選考委員は各分会長と決り、当日出席の分会長によって次期会長の選考が行なわれた。

選考委員は、神戸分会・名田昌弘(代理、中森康二) 尼崎分会・志築照和、西宮分会・和田茂之、摂津分会・山下治夫、播磨分会・小北博文、但馬分会・河原道夫、淡路分会・一瀬耕介の各分会長(代理)7名で、慎重選考によって次期会長に阿部勉氏(西宮)を決定。山下選考委員長より選考結果の発表がなされた。

なお、病氣療養中の飯田前会長に対しては、感謝の意を表すると共に十分に礼を尽した処遇をすべきであるとの要望と、飯田前会長並びに吉岡、平崎前副会長に対する感謝決議に関する動議が出た、ついで、監事選出にうつったが、万場一致で津田、津島の両氏が留任と決り議事を終った。

## このあと、

- (イ) 本年度交歓旅行に関する件
- (ロ) 新卒業生歓迎会に関する件
- (ハ) 会務運営について
- (ニ) その他

が協議されたが、本年度交歓旅行については当番の神戸分会より、その内容(交歓旅行案内書の原稿)が説明され了承された。

また、交歓旅行については、例年県外に出て行ってきたが、その方法等について反省の声も多く、次回からはこれらの意見を参考に一考することが提示され、とりあえず本年は20回目ということで盛大に開催したいとの意向が了承された。

なお、今総会は活潑な意見と討論が交わされたが、とくに予算面で学術研修に関する要望が出るなど、こんごの県同窓会のあり方を示唆する発言が多く出て充実した総会となり、さいごに吉岡副会長の閉会のことばで全日程を終了した。

## 交歓旅行に参加を

### 第1回常任理事会

7月18日(水)午後3時から兵衛会館5階講堂で第1回常任理事会が開かれ、阿部新会長より同窓会のあり方と施策方針がはじめて明らかにされた。また、新役員の色合せも行なわれた。ついで協議では、当面の問題として交歓旅行にできるだけ多くの参加を要望することや、その具体的な問題についての意見の交換があった。

まず、奥野名誉会長から阿部新会長のもと、強力な同窓会への発展を求めるあいさつがあり、ついで阿部会長が、飯田前会長の全快を祈るとともに、皆さんがわれもし会長なりせよの覚悟で事に当って欲しい、また、役員会の綱紀もひきしめてゆきたいと、あいさつを述べた。

ここで去る7月7日死去された名田副会長に敬けんな黙祷を捧げた。このあと報告事項では、役員紹介と担当部署の発表があり、ついで神戸分会会長として岡田一三氏(生田)の支部長会による決定が紹介された。

協議では、当面の行事である交歓旅行について意見の交換があったが、本年は既に決定されていることでもあり、また、種々反省されていることでもあるので、そうしたことを前提として多数の参加を呼びかけ第20回目の交歓旅行として一つの区切りをつけようということになった。なお、次



去る6月30日の大歯兵庫同窓会総会で会長に阿部勉氏(西宮)が選出されたが、そのあと役員人事が慎重に選衛され、専務に鹿嶋弘氏が決定、7月18日の第1回常任理事会で発表された。今回から常任理事会をはじめ各会合には詳細な日程書も作成され、庶務面でも正確な記録が残されるなどすでにイメージチェンジの実があがってきている。

鹿嶋新専務は就任に際して次の様に語った。

回の交歓旅行については、さらに十分な検討を加えて、早急に結論を出すことなどの方針も確認された。

#### 協議事項

- (1) 交歓旅行について
- (2) 各大学同窓会事務所設置について
- (3) 会務運営について
- (4) その他

## 交歓旅行のあり方を協議

### 第1回大役員会

第1回常任理事会について、第1回の大役員会が8月8日(水)午後3時から兵衛会館5階講堂で開かれたが、今回は交歓旅行参加の徹底もあり各支部長も出席して行なわれた。

座長に磯島副会長が指名され、阿部会長があいさつ、(その内容は就任あいさつとして別掲)報告事項、承認事項について協議事項に入ったが交歓旅行について内海理事が説明、参加者勧誘方法等について意見が交された。ついで次期交歓旅行の当番分会については、交歓旅行のあり方について多くの意見が述べられ、結局、次期当番は丹但支部であるが、9月までに次期交歓旅行のあり方を検討した上で、正式に当番を決定することになった。

今回の大役員会は、交歓旅行のあり方も曲り角に来たものとみられ今までにない活潑な意見の交換があり、午後5時30分山下副部長の閉会の辞で終了した。

#### 協議事項

- (1) 交歓旅行について
- (2) 次期交歓旅行の当番分会について
- (3) その他

## 専務に鹿嶋 弘氏

### 専務に就任して

今回、大歯兵庫同窓会役員改選にあたって阿部新会長から専務に就任の要請があり、とうとうお引き受けすることになったのですが、いざ仕事を始めてみると大へんな責任を痛感いたしました。それに加えて大歯兵庫同窓会では、まだ組織の問題、庶務の問題、その他福祉の面でも多くの問題が山積しております。まして歯科界全般に姿勢を正してゆかねばならぬ重要な時でもあり、皆さんのご協力がなくては何もやってゆけない実情でありますので、何とかこれらの事を軌道にのせてゆきたいと思っております。非力ではありますが精一杯働く覚悟ですのでよろしくお願いたします。

大阪歯科大学兵庫県同窓会役員

名誉会長 奥野半蔵  
 会長 阿部勉  
 副会長 山下治夫、竹谷三省  
 磯島吉之祐、永津良三  
 専務理事 鹿嶋弘  
 常任理事(庶務) 小坂井修、中塚裕司  
 森本二郎  
 常任理事(会計) 溝井三代次、河合範夫  
 常任理事(学術) 井上貴之介、長浜正昭  
 西田真和、山前春光  
 常任理事(広報) 中森康二、彦春野康二  
 伊藤藤村幸雄  
 常任理事(福祉) 内海西利正、岡田一三  
 常任理事(福祉) 中浜野雅之、寺西敏一郎  
 前中野賢康、彦清、小北博文  
 常任理事(組織) 松本見洋、清、正、宏、河原俊郎  
 塩田西原幸豊、村井俊郎  
 西原田幸義、人、和、渡宮、津田象治  
 笠原築村田島大曜敏博、文、奥南清岡永橘、高南村海田海勝、原今小滝山  
 志木山津藤飯平石中西坂楠天河尾小谷能原山北鯉林和島  
 津榮三、久夫、一雄、雄昇、次昌、衛郎、逸吾、弘典、彦一、尚  
 貞、康秀、栄隆、利、精、馴、嘉久、寿昌、昭、良、靖、俊、一、尚

分会長、支部長

神戸分会長 灘 岡田一三  
 支部長 東灘 梅村武  
 支部長 灘 寺西敏一  
 葦生合田庫田磨水石馬 佐南内谷越中善入 井木田上村森入 井秀夫正弘 須重垂明有 登志彦二 有尼崎志 康芳治和  
 尼崎分会長 西 官 和 田 茂 之  
 西宮分会長 伊 丹 山 下 治 夫  
 摂津分会長 伊 丹 山 下 治 夫  
 支部長 伊川宝芦 播磨 伊丹西塚屋 小北博文  
 播磨分会長 三木・美囊 中石筋佐一  
 支部長 小野・加東 小野・多可 西磨 原小北 八博雅文  
 加播姫路・神崎 磨 竜粟 井久 憲 一  
 西播・佐用 水 上 紀 和 南 重 雄 一  
 丹波分会長 但 馬 分会長 但 馬 分会長 但 馬 分会長  
 支部長 但 馬 分会長 但 馬 分会長 但 馬 分会長  
 支部長 但 馬 分会長 但 馬 分会長 但 馬 分会長  
 淡路分会長 洲 本 一 耕 介  
 支部長 洲 本 一 耕 介

(注) 分会長、支部長、等に誤りがありましたらお知らせ下さい。

## 昭和47年度大阪歯科大学兵庫同窓会歳入歳出決算書

歳 入 金 3,451,513 円

歳 出 金 3,002,254 円

差 引 剩 余 金 449,259 円

## 収 入 の 部

△印 減

款	項	決 算 額	本年度予算	増 減	摘 要
第一款 会 費		3,099,500	2,970,000	129,500	
	第一項 会 費	3,099,500	2,970,000	129,500	
第二款 雑 収 入		274,282	268,500	5,782	
	第一項 雑 入	26,782	20,000	6,782	預金利子
	第二項 寄 付 金	0	1,000	△1,000	
	第三項 本部手数料	247,500	247,500		2,500円
第三款 繰 越 金		77,731	77,000	731	
	第一項 繰 越 金	77,731	77,000	731	
	合 計	3,451,513	3,315,500	136,013	

## 支 出 の 部

款	項	決 算 額	本年度予算	増 減	摘 要
第一款 事 務 費		573,044	630,000	△56,956	
	第一項 事 務 費	162,000	150,000	12,000	
	第二項 旅 費	148,640	200,000	△51,360	
	第三項 通信印刷費	179,802	200,000	△20,198	
	第四項 消耗品費	30,722	30,000	722	事務用品代
	第五項 雑 費	51,880	50,000	1,880	
第二款 会 議 費		397,300	250,000	147,300	
	第一項 会 議 費	397,300	250,000	147,300	
第三款 事 業 費		2,031,910	2,210,000	△178,090	
	第一項 学 術 費	0	20,000	△20,000	
	第二項 広報宣伝費	24,200	50,000	△25,800	
	第三項 福祉厚生費	1,214,520	1,500,000	△285,480	新卒歓迎会 交歓旅行会
	第四項 表彰慶弔費	122,500	140,000	△17,500	
	第五項 渉 外 費	670,690	500,000	170,690	
第四款 予 備 費			225,500	△225,500	
	第一項 予 備 費		225,500	△225,500	
	合 計	3,002,254	3,350,000	313,246	

## 昭和48年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出予算書

歳 入 金 3,790,000円

歳 出 金 3,790,000円

## 収 入 の 部

△印 減

款	項	本年度予算	前年度予算	増 減	摘 要
第一款 会 費		3,060,000	2,970,000	90,000	
	第一項 会 費	3,060,000	2,970,000	90,000	3,000円×1,020名
第二款 雑 収 入		281,000	268,500	12,500	
	第一項 雑 入	25,000	20,000	5,000	預金利子
	第二項 寄 付 金	1,000	1,000		
	第三項 本部手数料	255,000	247,500	7,500	3,500円×1,020×0.1
第三款 繰 越 金		449,000	77,000	372,000	
	第一項 繰 清 金	449,000	77,000	372,000	
	合 計	3,790,000	3,315,700	474,500	

## 支 出 の 部

款	項	本年度予算	前年度予算	増 減	摘 要
第一款 事 務 費		880,000	630,000	250,000	
	第一項 事 務 費	150,000	150,000		
	第二項 旅 費	250,000	200,000	50,000	
	第三項 通信印刷費	400,000	200,000	200,000	名簿
	第四項 消耗品費	30,000	30,000		事務用品代
	第五項 雑 費	50,000	50,000		
第二款 会 議 費		300,000	250,000	50,000	
	第一項 会 議 費	300,000	250,000	50,000	
第三款 事 業 費		2,200,000	2,210,000	△10,000	
	第一項 学 術 費	10,000	20,000	△10,000	
	第二項 広報宣伝費	50,000	50,000		会報発行(年2回)
	第三項 福祉厚生費	1,500,000	1,500,000		新卒歓迎会 交歓旅行会
	第四項 表彰慶弔費	140,000	140,000		
	第五項 渉 外 費	500,000	500,000		
第四款 予 備 費		410,000	225,500	184,500	
	第一項 予 備 費	410,000	225,500	184,500	
	合 計	3,790,000	3,315,500	474,500	

自然増は予備費へ繰入れ